

校長メッセージ

講話より N03

平成29年7月6日

題「明日は開校記念日、開校から20年目までを振り返る」

【講話のねらい】

明日は、第49回目の開校記念日である。大東小が施設面で完成する開校20年目までを振り返り、先人の思いに触れ、愛校の心がもてるようにする。

【話の進め方について】

校内放送を使い、残されている写真や記録を示しながら、開校から20年目までの大東小の歴史を知らせる。自分たちの大東小との愛校の心情を養うことを期待したい。

【講話内容の概略】

明日は、大東小学校の49回目の開校記念日です。今日は丁度講話朝会がその前の日なので、大東小学校の今までの歴史を振り返ってみたいと思います。



まず、この写真を見てください。これは、大東小学校建設工事が始まる4年前の大東地区の様子です。非常に不便な土地だったようで、そこに、真っ直ぐな広い道をつくったり、水道管、下水管を整備し、住宅地、公園、学校予定地などを整備し



たりしました。つまり、学校ができる前に、大東地区を整備する大工事が行われていたのです。それから3年した昭和43年に大東小学校を造る工事が始まりまし

た。【中略】 この写真は、最初の校舎が完成した、昭和44年7月7日ころの写真です。運動場は、まだ石ころがごろごろ、ぬかるみだらけでした。その写真がこの写真です。児童数は、602名、15学級でした。

開校3年目には、校庭もきれいに整備され、国旗掲揚等もできています。この頃、新校舎（今の北校舎）をつくっています。プールはできていましたが、体育館はまだできていません。開校して4年目に体育館と北校舎が完成しました。今から約45年前のことです。そしてこの頃、文部省及び、全国学校体育連合会より、保健体育優良校として表彰を受けています。それから3年連続で埼玉県より表彰されています。児童数は976名、25学級でした。



昭和44年開校当時の校庭

校章と校歌ができたのもこの頃でした。校章は太陽の光を表しています。「強く、そしてやさしい子どもに育つことを願って」制作されたとのことです。大東小学校の児童数が一番多かった年は、開校5年目の昭和49年で、1,087名、27学級ありました。翌年は、道祖土小学校ができたため、児童数は973名になりました。

この写真は、開校10年目の航空写真です。（掲載なし）今の大東小学校のほとんどが出来上がっています。写真を見ると、校庭の南側にまだ家がほとんどないことと、学校の周りの木がまだ低いことが分かります。今のコンピュータ室、図書室、第2音楽室の建物はまだありません。これらが完成したのは、翌年11年目の事でした。給食室は、10年目に完成し、翌年から自校給食が始まりました。

記念碑



この写真は、開校20年目の航空写真です。（掲載なし）今の大東小学校が完成したと言っていいと思います。ですが、今あるものがありませんね。一つは、バスケットリングがありません。ブランコなどの遊具もありません。防球ネットもありませんね。防球ネットができたのは平成7年、今から10年前の事でした。そして最後の写真です。「かしこく、なかよく、たくましく」そう「かなた」の記念碑です。開校20年目に建てられました。

このように、振り返ってみると、今大東小学校があるのは、いろいろな人の学校を大切にしたいという思いや、毎日の積み重ねの上に気づかれてきたことが分かります。学校を大切に使い、先輩から後輩への受け継いでほしいと思います。そして、受け継ぐ物は、形あるものだけではありませんね。心も受け継ぐものです。「上級生が下級生にやさしく、みんな笑顔であいさついっぱいの大東小」を代々受け継いでほしいと思います。一生懸命勉強する。人のために働く事を喜びとする。このようなよい伝統をこれからも大切に、生活してほしいと思います。これで、校長先生のお話を終わりにします。